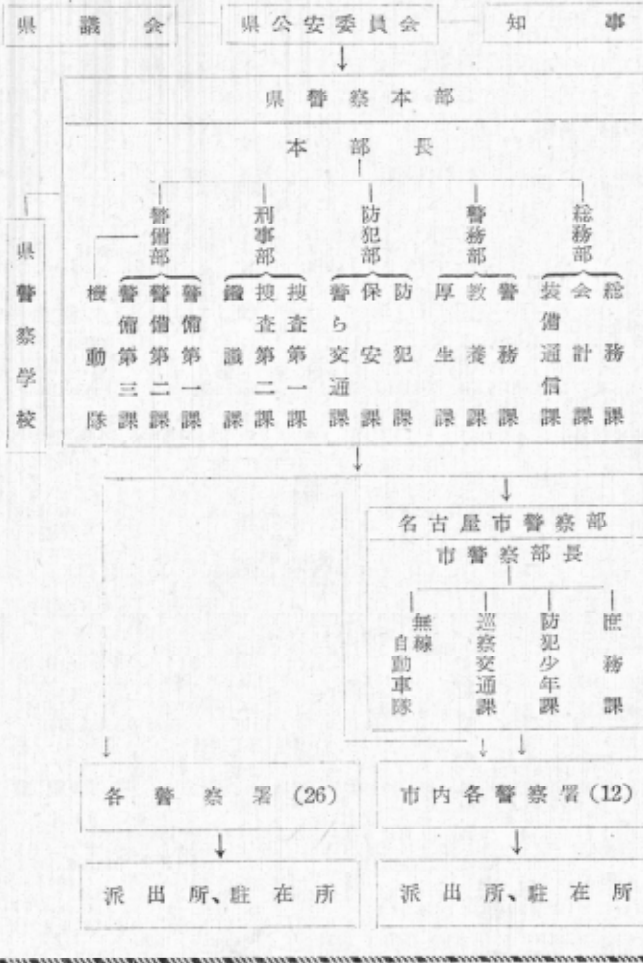
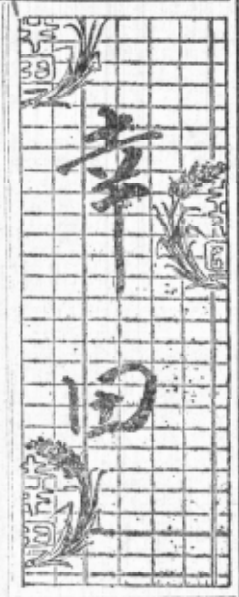


名古屋市警を統合して

県警察の組織 [6部18課2隊1校38警察署]



県警察一本化



第67号

発行所 愛知縣額田郡幸田町印刷岡崎
 所 額田郡民権所 活版所

国警とか自警とかいつたのは、昨年以前のことです。二十九年七月から県下すべての警察は、一つに統合されて県単位の警察となつていますが、たゞ名古屋市警察だけが一箇年間、県警察と併立して残されていましたが、七月一日から県警察に統合されて、名実ともに一本の警察となりました。

この管理は、五人の公安委員から成り立っている公安委員会が行います。その公安委員の内、三人は県議会の同意で、二人は名古屋市議会の同意を得て市長が推せんする人をそれぞれ知事が任命します。

警察本部長は、公安委員会の管理に服し県下六千余名の全警察職員を指揮して、治安維持に当ります。警察は「県民自身の警察」「県民のための警察」「県民によつて運営される警察」でなければならぬことがこのしくみによく現わされている。

警察は、「生命身体財産の保護」「犯罪の捜査」「被疑者の逮捕」及び「公共の秩序の維持」をするのが責任であり任務です。県警察は、県民から親しまれながら、しかも力強く、この任務を完全に行わなければならない。それには県民の皆様が、よく警察を知つて、県警察をより立て、行きましよう。

警察は、どのように働いているかをよく見ましよう。そして県警察は「この方面にもつと力を入れたら」とか、「このようなことを始めてはどうか」とかの意見を公安委員会や警察本部に送らましよう。

総代会協議事項

幸田町畜産組合(三〇、五、一三)

- 第一号議案 昭和二十九年年度事業報告並収支決算の承認を求むる件
- 第二号議案 昭和三十年年度事業計画並収支決算案の承認を求むる件
- 第三号議案 昭和三十年年度組合費徴収について期日及金額を定むる件
- 案 (徴収額 大家畜八十円 中家畜 四十円)
- 徴収期日 六月末日
- 第四号議案 役員改選の件

昭和三十年年度役員氏名

名	坂、隆	大草	菱池	荻谷	深溝	豊坂
氏	事 大津米太郎	足立弥四郎	小玉五市	内田義治	杉浦正	天野源四郎
理	安藤周蔵	天野栄	鴨下宇佐吉	小林清一	相戸正	浅井源重
員	谷川重市	星野幸治郎	河井正	伊沢義彦		
監	鈴木一二三					

昭和二十九年年度収支決算報告書

幸田町畜産組合

収入の部		支出の部	
科目	決算額	科目	決算額
前年度繰越金	一七、八九七	総会費	七、八〇〇
組合費	五一、七八〇	協議会費	二、八四〇
市場出荷奨励金	二三、二三六	部会費	五、〇〇〇
予金利子	六一五	審査会費	一二、六八八
合計	九三、五二八	品評会費	一八、六〇六
		増減	
		増	八〇〇
		減	△二、一六〇
		増減	△七、五〇〇

摘要
 前年度繰越金
 組合費
 市場出荷奨励金
 予金利子
 摘要
 総会費謝礼その他
 役員会二回
 各部会四回
 町子選会、登録審
 査会費用
 町品評会
 農協毎講評会

昭和三十年年度事業計画書

幸田町畜産組合

- 一、部会の開催
各家畜別に部会を開催し部内の連絡及之が振興方策について協議する。(成可く農協毎に開催)
- 二、研究会の開催
イ、講演会、講習会の開催
ロ、飼育管理並生産研究会の開催
ハ、技術研究会の開催(調教授精)
- 三、登録検査の施行奨励
優良家畜の導入に伴い之が有資格のものについて登記登録及審査会を開く。
- 四、品評会及講評会の開催
家畜の増殖、改良及管理の適正化を図る為各農協毎に講評会町に於て品評会を開催する。
- 五、導入幹旋
有畜農家創設要項に基ずく購買及優良家畜の導入幹旋をする。
- 六、販売幹旋
各家畜の販売幹旋
- 七、情報の提供
- 八、その他
各家畜台帳の整備等

奨励費	一八、七九〇	一五、〇〇〇	三、七九〇	市場出荷導入奨励費
研究会費	一一、七八〇	九、〇〇〇	二、七八〇	生産研究会その他
消耗品費	一六〇	一、〇〇〇	△八四〇	消耗品費
食糧費	四〇〇	〇	四〇〇	和牛肝臓検査屎食
通信費	〇	五〇〇	△五〇〇	
予備費	〇	二、六九七	△二、六九七	
合計	七八、〇二四	八〇、六九七	△二、五〇四	
差引残高	一五、五〇四円			

昭和三十年年度へ繰越 壹万五千五百四円也

お米の新しい集荷制度とは(一)

一、はじめに

新制度のできるまで

今年のお米から集荷制度が変るこ
とになりました。今までの供出割当
制が、「事前売渡申込制」といつて
先ず生産者から前以ていくら売りま
すと申込み、それに基いて出来秋に
売るのである。このやりかたは、農協
等が予約制といつて宣伝中ですが、
五月七日閣議で決定され政府として
本ぎまりになりました。

そこで生産者の方々に十分のみな
んでもらい、少しでも多く申込んで
頂くために内容を説明しましょう。

よく食糧管理制度は行き詰つたとい
われ、統制撤廃の掛声も盛んにな
つて来ていますが、これはどうい
うことでしょうか。お米の統制は昭和
十七年に食糧管理法ができてから十
年以上になります。年一年と難し
くなつて来ました。

第一は、お米が政府に集らなくな
りました。もとは三千万石以上集つ
たのが二十八年産米では、僅か二千
五十九万石にへり大抵三分の二とい
うわけ。供出割当量もつとひどく
三万石以上だつたのが豊作だつた二

(一)

十七年でも二千二百九十万石、二十
八年は千四百万石で、大体もとの半
分という減り方です。何故集らなくな
つたか？ それは社会状況が変つ
たからで、つまり終戦直後までは、
食糧全体が不足で、他の物資も皆不
足で日本経済全体が嚴重な統制経済
だつたのですが、そのうち生産は復
興して統制は次々に外され、食糧も
輸入が増えて食糧全体としては十分
ということになりました。お米は足
りなくても、外米なり、麦なりは、
たくさんあり、食べるのに不安はな
いということ。そうなるとう自由
経済の中でお米だけ統制しようとし
ても無理があり、農民にだけ統制価
格で命令的に供出させようとしても
承知しなくなり、供出量はへる一方
となつたのです。

命令だけで集らなくなりすると、
値段を高くせざるをえませんが、年
々上げてきたのが第二の問題です。
生産者価格を上げるのはよいが、他
方消費者に配給する値段の方がおさ
えられているので、その間の開きを
財政負担したからです。これが二重
価格で、生産者に高く、消費者に安
くという結構なことですが財政の方

がもたなくなり、二十七年産米が一
八六億、二十八年が三三七億という
巨額の財政負担をしているので、今
では何とかやりくりして来ましたが
もうどうしても、やりきれなくなつ
たところに問題があるのです。

お米の集りが悪くなれば、配給も
へつて来ます。麦が外れた後の配給
はいわゆる十五日配給ということ
生産量は内地米で二十日、消費量は
内地米と外米合せて十五日そのうち
内地米は十一日でした。それが二十
八年産米がへつたので内地米の配給
も、生産量十五日、消費量七日と、
四、五日分へらされ、二十九年にな
つても消費量が一日ふえて八日にな
つただけ、つまり一月のうちお米の
配給は半分、内地米はそのまた半分
で四分の一というわけです。配給が
こんなに少なくなり、大して意
味がないから「いつそやめてしまえ
」という議論もでてくる訳です。

このように国が毎年巨額の財政負
担して無理してもお米の集荷は年々
難しくなり、配給は減つてしまつた
ということが食糧管理制度の行詰り
ということ、これを何とかして立
て直ししなければならぬというこ
とになり、一方では、そんな状態な

らもう統制を続ける必要はないから
撤廃してしまえと主張もされるわけ
です。こういう議論が二十八年産米
の状態をきつかけとして盛んになつ
たので、政府も食糧対策協議会を設
けて半年間かかつて検討しましたが
その結論は、統制撤廃はまだ時期尚
早で、尙暫くは続ける必要がある。
そこで十五日配給を継続することと
し集荷方法を生産者の自主的申込と
農協系統組織の共販体制の推進によ
る予約売渡制をとることにした。

しかし答申が遅く、因作気味もあ
つてもう一年やつたのがさつぱりい
かなかつたのです。

そこで再び、食糧管理制度を根本的
に立直せという要求が起り、統制撤
廃論も有力となつて来ました。確か
によい方法が見つかれば撤廃せよ
といわれても反対できない状態で、
民主党内閣成立で政府与党内部でも
意見が分れたが、やはりまだあぶな
いから、三十年は集荷方式に必要な
改善を加えて管理を続けることに落
ちつきました。そこでもう一度米穀
懇談会を作つて検討されたのですが
(1)食糧管理制度の根本的検討は引続
き行い、さし当り三十年産米は配給
制を継続する。(2)集荷については、
生産者の自主的売渡と、集荷業者の
活動促進を基調とする新体制をとる
という答申が出されました。

そこで政府は、基本方針をきめ、
具体的方法を検討の結果五月七日閣
議で正式に決定した訳です。

放送と観光のニューフェイス 名古屋テレビ塔

名古屋市を中心栄町の東、百米道路上の緑地帯にあつて、その四本の鉄骨頂上にはNHKテレビと民間テレビのアンテナが伸よく一本になり総高一八〇米、地上脚間三五米という巨大な偉容に要した鉄の総量約一千トン実に東洋一と誇つてよいアンテナ塔であります。

この鉄塔の途中には各種観光用の設備をし、名古屋の新名所としてお目見得してから六月二十日で満一年になります。即ち地上九〇米には広さ七〇坪の総ガラス張りの展望台があり、その視野の広さと展望の素晴らしさを誇り、特に夜景の美しさは絶讃されております。

また地上一五米から二六米の間に三階建延七六〇坪の建物を抱えており、展望台はこの二階から二台のエレベーター(定員一六名)が往復しています。この東側にNHKとCBCのテレビ送信室があり、その階下にそれぞれの機械室があります。

展望台の各角に望遠鏡を備え景観の説明もします。エハガキや記念スタンプもあり、ここからのお便りには赤電話もあります。展望台からの

帰りは三階でエレベーターを降りて市内著名のお土産売店、東側の喫茶食事、休憩用の大サロン、西南の子供用天然色幻灯、記念写真を見たり屋上の露台へもお上り願ひ、御希望の方は展望台までの階段の上り下りもできます。

地上玄関は北側で展望券、南側で入場券、団体券を発売しており、この玄関エレベーターで二階へ上り、中央のエレベーターに乗りかえませすが、混雑する日には切符に組番号を押し、百名宛三階から二階エレベーター改札口へ案内します。観光に見学に皆様の御利用をお待ちしております。

営業案内

営業時間(年中無休)

午前九時から午後八時まで

展望台料金(一人につき)

大人五〇円、学生三〇円、小人二〇円

入場料金(三階屋上まで)

一人につき 一〇円

団体割引(附添五〇人毎に二人無料)

三〇人以上 一割引

一〇〇人以上 二割引

二〇〇人以上 三割引

望遠鏡使用料 一回 一〇円

大垣・豊橋から

一番電車

— 国電の正式営業開始 —

名古屋鉄道局では六日から東海道線豊橋〜大垣間の一部ローカル列車を湘南型電車で切り替え、国電の正式営業を開始した。上りは大垣発五時五十五分、豊橋行列車を皮切りに五本、下り豊橋発九時四十三分大垣行の他三本が初の電車運行を行ったが大垣・豊橋両駅初の湘南型電車にわざわざ入場券を買つて見物に来た人も多く、人気は上々のスタート振りでした。尚十一日から上り二本下り一本、更に十二日から下り一本も湘南型に切り替え、二十日から改正ダイヤにより豊橋〜大府間十一往復、大府〜名古屋間十二往復名古屋〜大垣間十三往復、大垣〜垂井間十五往復、垂井〜関ヶ原間八往復の電車運転が行われ、東海の交通は本當に恵まれ、多年待望の沿線住民の顔は、ニコニコと明るい。

四日には、本町、各小学校、中学校のよい子たちの代表も、名古屋まで試乗、オリーブとグリーンの色も鮮やかな四輛連結の新車に初乗りして大喜びでした。

水より子供を護れ

菱池 K・H

猫の手が借りたといふ云うが實際猫の手どころか百足の脚が借りたい程忙しい農家の田植が終わると梅雨に上り本格的な夏がやつて来ます。

夏!!と云へば海に川に「カッパ」連が我が世の春と大いに楽しみ大いに喜びますがそれと同時に悲しいニュースを聞きます。水の犠牲者がそれで年に九千人の多数に上ります。

その犠牲者の大部分が満一才から十才までの幼児や小学生であり水泳中の溺死は少く池、防火用水、ミゾに落ちて死亡するのが一番多い。

結核や新聞紙上を毎日のように賑かしている交通事故で死亡する子供より水死の数が多いと云う事は案外お父さん、お母さん方は知らないではないでしょうか。

これからは幼児が水遊びをする季節であるからお父さんお母さん方はよく心すべきだと思ひます。





郷土史料 志賀又郎
方言

人の思っていることや、感じたことを、声であらわすものを「言葉」といいます。人は誰でも小さい時分から、親や兄弟や友達や近所の人などの話をするのを耳にして、だんだん言葉を覚えて、自分の思っている事や、感じたことをいゝ表わしたり人の思っていることや感じたことを聞きわたることができるようになり学校にあがつて先生から言葉で色々なことを教へていたといゝて、色々な智慧がついて来たのです。若し言葉がなかつたら、お互に思っている事や感じた事を知らせ合うにも困るし色々物事を覚えるにもむづかしいのです。だから言葉は人間にとつて非常に大切なものです。

世界にはいくつかの国があつて、それぞれ違つた言葉をもつています。アメリカにはアメリカの言葉がありフランスにはフランスの言葉があるように、その他の国々にもそれぞれ言葉があります。これを、その国の「国語」といいます。そして我が国民の話す言葉は、我が国語です。私は小さい時から養われた国語の力

で、お互に親しく暮したり、物事を辨へるようになったのです。時には争い合うこともありませんが、いざという段になると国民が一致団結するのは、この国語の賜なのです。国語には言葉毎にいろいろな情がこもっています。お互に普段はそれ程にも思っていないが、一たん自国を離れて他国へ行つて、どんな言葉でも自国の言葉を聞く時は、何ともかともいられない懐かしさ、嬉しさに涙がこぼれる程です。ですから言葉には国民精神が宿つているといわれています。

自分の言葉と相手の言葉が同じである時は、打ち解けて思っていることや感じた事を話し合つて親しくなりますが、言葉が違うとそういう訳にはまいりません。国中の人の言葉を同じようにすることは、国中の人の意志や感情を疏通させて、まさかの時には一致協同してお互の為に尽す上に最も大切なことです。だから世界中どここの国でも自国語を増すよう努力しています。

我が国は昔からどこへいつても山岳があり、海岸の出入も多くて交通が不便である上に封建時代が長く続いたために無数の方言が発達し、西

の涯と東の涯とは全くお話ができないようになりました。明治維新以来学校教育のおかげで、段々話が一般に通じるようにはなつて来ましたがまだすつかり同じ言葉を使うようにならないのは残念です。処によつて違う言葉をその地方の「方言」といいます。我が国の方言を大きく分けて関東方言と関西方言とにします。この二大方言がまた無数の方言に分れています。

このように言葉が違つていては不便ですから、どれか一つを標準にして全国同じ言葉にしなければなりません。そこで一國文化のセンターである中央政府のある都市の選ばれた言葉をとつて「標準語」とします。我が国では関東方言の中から東京の中流社会に使われている言葉によることになり小学校入学の当初から学んでいます。

幸田町地方は、東西文化の接点に位置するので言葉も大体あいの子になつて、地方特有の方言が行われていません。今でもわけの分らない人は、標準語を使うと生意気だということもあるが、標準語を使うことが国民の一円融合の上に大切なことです。お互に心して標準語を使うようにし

ましよう。
次に幸田町中心として西三地方に行われている方言の主なものをあげて見ましよう。

一、名詞	方言一班(上方言、下標準語)
からど	からだ(体)
たほこ	たばこ(煙草)
あい	あゆ(鮎)
いび	ゆび(指)
じばん	じゆばん(袴)
みしろ	むしろ(薙)
えべす	えびす(恵比須)
めめす	みゝず(蚯蚓)
さゝぎ	さゝげ(豇豆)
おぶぎ	うぶぎ(蓆衣)
きせろ	きせる(煙管)
つぼ	つぶ(粒)
てのこい	てぬくい(手拭)
ふるしき	ふるしき(風呂敷)
ほとくれ	ふところ(懐)
もだばな	むだばな(徒花)
ようだち	ゆうだち(夕立)
かみすり	かみそり(剃刀)
こゆみ	こよみ(曆)
二ある父音が他の父音に転じたもの	
ひぼ	ひも(紐)
しやかん	さかん(左管)
くまぜ	くまで(熊手)
むかぜ	むかで(百足)
じやくろ	ざくろ(柘榴)
ひち	しち(質)

保月庵茶話 白梅会記

茶室について

東山時代の茶を書院茶といひ、書院飾りをした大広間で行つたものでしたが、広間は思想の統一に適しないため襖や屏風を立廻して広間の中に小座敷を設けてこれを囲と呼んでいた。やがて將軍足利義政が銀閣に東求堂という四疊半の茶室を造る因となつた。後にこれを数寄屋と呼ぶようになった。

最初広さを四疊半にしたについて色々の説があるが、一丈四方の室を方丈と称した等から思いついたのであろう。冥想禅悦の場合、最小の間を便宜とした禅寺の習慣を茶室に応用したわけで、その後佗びしさを本旨とする茶の流行と共に、茶室の間取りも一層狭まり、紹鷗、利休時代には四疊、三疊台目、二疊台目、二疊となり、甚しいものは一疊半の小間さえできるようになった。

この台目というものは、六尺三寸の疊の一端を台子の奥行一尺四寸と隅板を併せて一尺五寸だけ切取つたもので、書院の台子手前を草庵の佗び手前に応用したもので、茶道としては大麥画期的な新工夫であつたと思われまふ。尙この他にも疊と疊の

間に板敷を交えてこれを中板と称して、座中に一段と佗びの味を加えたり、またこの茶室に罫口といつて縦二尺二寸五分、横一尺四寸五分の入口を設けて客はこゝから室内に入り膝と膝とをつき合せて主客一如となつて和敬清寂の妙味を味わおうとしたものであります。これが始めて當時の有力な宗匠等が色々と点茶、接客の便利を考へては、自分の好みの茶室を考案したり設けたり、天井の高さ、窓の広さ、茶道口、給仕口の寸法に至るまで研究して各種の茶室が構案せられて来たのであります。

この茶室は世界でも類例のない木造小間の建築として極致ともいふべき美をそえていましてその中を動かしたり等できない程完備したものであります。

近年、日本文化が世界各国に認識されつある今日、この茶室も重要文化財として、広く紹介され文化国家としての大きな役割を果していますことはまことに欲びに堪えません次第です。

せきり予防

今年もせきりが多い。しつかり予防して、あなたの健康を

守りましょう。

- 一、調理前、食前には必ずせつけん
- 二、食べすぎ、のみすぎしないよう
- 三、川では洗濯しないこと。
- 四、はえの発生を防ぎ、町からはえをなくしましょう。
- 五、台所や便所の清掃と消毒を忘れずにいたしましょう。
- 六、発熱、下痢、腹痛は、すぐ医師にみてもらいましょう。

らい療養所へ

慰問品発送

六月二十五日教らいの日に当り、左記の慰問品が皆様方の協力により集りましたので、三十日岡崎保健所を通じて、国立駿河療養所と愛生園療養所へ送りました。

区名	金	品
長嶺	ちり紙四帖	
久保田	金六〇〇円	
坂崎	石鹼一八個、雑誌三二冊	
大草	金五〇〇円	
高力	金一六〇円	
鷺田	石鹼五個、歯磨粉五袋	
新田	ちり紙二帖、揚子七本	
岩堀	金一〇〇円、雑誌七冊	
	金四六〇円	

横落	金八〇円
三菱	金一八〇円
荻	雑誌三二冊、石鹼一四個
	ちり紙一帖、歯磨粉二袋
	シャープ一本
芦谷	タオル三二本
	雑誌一一四冊
	風呂敷二枚、歯磨粉三袋
	鉛筆一〇本、揚枝一本
	ハガキ四枚、ちり紙一帖
	石鹼九個、便箋二帖
	ノート一冊、枕覆一個
幸田	金四〇〇円
里田	金三〇〇円
海谷	金二〇〇円
市場	金三六六円、風呂敷一枚
	タオル五枚、ハンカチ一枚
	手拭八枚、鉛筆六本
	歯磨粉二袋、揚枝三本
	石鹼五個、雑誌九八冊
	靴下一足、ちり紙一帖
	草履一足
逆川	金六〇五円
桐山	雑誌三四冊、石鹼一五個
	ちり紙二帖、マッケー三〇個
	タオル一五個、風呂敷三枚
	ノート二冊
上六栗	金一六〇円
六栗	シャープ一三冊、揚枝三本
	鉛筆二本、スモカ二個
	歯磨粉五袋、石鹼一八個
	ちり紙三帖、雑誌六冊
野場	金三〇〇円
永野	金二二〇円
須美	金一五〇円

魚のシユン

魚のシユンはどうしてできるか。それは各々の魚の習性によつてその魚の居所が変つたり、餌が変つたり又産卵などの生理現象が起つたりするので、それに従つてその体の成分も変つて来て、我々の舌に感ずる味も違つてくるためです。

このように魚が沢山とれたり、近くでとられ易い状態の時、体の状態が食べてうまい時をシユンといい、普通脂ののつた魚はうまいといわれます。勿論魚の味は脂のためばかりではないが、産卵前には餌を多く食べて栄養を充分とり、脂も肉や内臓に十分貯えていて非常においしくなるものです。そしてこれが一度卵になつたり、産卵してしまつとすつかり養分を使い尽し、肉もバサバサしたもつたになつて了います。

一般にシユンの魚は安い上に味もよく栄養も満点で、大抵は新鮮なものばかりですから、大いに買つて食べるよるしいです。

「空の旅」感想記 C生

不肖は、本町在住のA B両氏と謀り、ある社の九州観光団に加盟して

春雨煙る午前九時頃、某社自家用車の出迎えをうけ、湘那駅十時一分発快速列車で一行二十六名と合し、一路九州に向けてめでたく出発した。名古屋で近鉄特急かつらぎ号に乗り替へ車中昼食を取り、中川駅經由上本町十四時五十五分着、直ちに貸切バスで大阪市内巡覧、案内ガールの説明を聞きつゝ、日本航空会社営業所に至り、塔乗の手続を終り、少憩後日航直営バスで約四十分、伊丹飛行場待合室に來たら乗客七、八十人が待合せていた。

空も晴れ夕日映える十七時、悪天候のため延着の入電に気をいらだたせ待ちわびるうち、東の空に機体を認めほつと一息、降客を送つて、改札をうけ、日航会社「はるな号」の機内に入るや、その雄大さに驚くばかり、収容人員は六十余人。機内の模様を簡単にいうと、ちようど急行の特二に必遺し淡い間接照明が施してある。展望室の上に四と五十度位の角度で金属製の荷物棚があり、その裏側に半円球形の廻転通風孔があり、更にスイツチにより自由に採光がでる読書等に自己の欲する光度が満されるあたりアメリカ式という処か。又防音装置により非常に静か

ある。座席は右三人掛、左二人掛の固定椅子にバンド付、正面に禁煙、各自バンドをしめて下さい。という文字が光つておる。愛煙家の我々に一瞬苦痛を思わせた。塔乗と荷物の積込が了るとベルの合図に早機体は走り始めた。飛行場は東西三軒、南北二軒、なかなか離陸しないが好奇心は早く早く待ちわびた。十八時二十分離陸命令をうけましたから出発します。の放送と共に、プロペラの激しいうなり。瞬間下輪が離れたと思うと、見る見る家、山は下へ下へ小さく沈んで何の感動もなく、日は落ちて視界も明かでないが、神戸の市街らしい紅青のネオン、白い灯が粟粒のように扇形に並んで見える高度五千六千呎とのこと。

たばこは自由に召し上つて下さい。荷バンドも緩めてよろしいとの放送に、やれやれと一ぶくしながら下を見れば瀬戸内海の上空らしい白い広々とした中に黒い鳥影が点々。双生児かともごうガイド二人にスワブ、サソドワイツチのサーピスをうけながらA氏と語るうちウツラウツラと夢路をたどる。ばつとさめて時計を見ると着陸二十分前、又下界を見下すと門司か小倉の上空らしく、色とり

どりの電灯の粟粒を認めた。板付飛行場も間近らしい。降りる感じが悪からうと思ひ先方を見れば、赤青紫の標灯が見え場内に入つたなと思う間もなく、「皆様着陸しました。御案内するまで、そのまゝに願います」との放送に一同口あんぐり。時將に二十時二分前。ガイドの案内で順次降車し、場内待合せの日航バスで福岡市内高島旅館支店まで二十分、直ぐ入浴して夕餉の膳に舌鼓うつて旅の疲れをいやし二十三時、床に入り、九州観光第一日の日程は無事終了した。

人口動態 (5月分)

	累計	
出生	138	65
死亡	95	29
死産	0	1
婚姻	12	50
離婚	1	2



増産百語

有り難いと思う心

どれ程上国であつても有り難いと思ふ心、即ち恩沢に報ゆる心がなければ、有るが上にも願ひ求めて不足が起り、自然と借財を生じて、終に困窮をするようになれば下国にひとしい。或は美食があつても有難いと思ふ心がなければ、終に自然と不足が生じて有るが上にも願ひ求めるようになつて行けば、片田舎の粗食も同様である。或は美食があつたとしても有難いと思ふ心がなければ、自然と不足の心が起つて、有るが上にも外国の名産などを願ひ求める野卑の心が生ずれば、やはり下国に生まれたのと同様になつてしまふ。

たとえ智仁勇の三徳を備えておつても、父母や祖先の恩沢に報いる心がなければ、これ又自然と不足の心が起つて遊芸などを願ひ求めるようになつて行き、結局傾城遊女などと同様になる。以上のように有るが上にも願ひ求める時は人々に貧賤尊卑の違いはあるけれどもみんな滅びていく。支那の昔の夏の国や殷の国が亡びたのも同じことである。仏教でいう貧の三毒というのもこれであり

孔子のいわれた「過ぎたるは及ばざる如し」というのもこれである。
(これは浦賀の商人宮原屋にあてた書簡の一節である。)

(二)宮尊徳翁の言葉

社会体育・レクリエーション・シリーズ
福引

福引

童心に還れ
ニーモアを持たない人生は、人生の範疇に入らない。とはしばしば耳にし、又誰しもが持つている希望でありながら、今日の生活は余りにも雑ばく、さながら砂をかむような味気ない現実です。

では福引の効用は？ これは元來その階級の如何を問はず、又その人格の是非を論ずることなく希望や期待を全く度外視して、唯「運」の一字によつて与えられるところに所謂百分の興味のあるわけでありすがといつて唯単に暗がりから物を掴み出すような無味乾燥なものでは全く意味がありません。諷刺とニーモアは人間にだけ与えられた特権です。これから醸し出されるふんいきは、世のもろもろの憂さを吹きとばすでしょう。こゝに福引の意義があります。

自由な感覚と新しい境地にたつて、息苦しい生活の一隅にささやかながら想いの役目を果し得ましたならば望外の喜びに堪えません。

題名 品物 説明

失言 (消ゴム) 後でとり消す
中立 (風鈴) 中ブラリン
春の夕暮 (なし) くれそうでくれぬ

春風 (ちり紙) ヘナをふく
青葉の頃 (うちわ) 夏にいる

螢 (電球) 暗くなると光る
夕立 (障子紙) すくはれる

雷 (鈴) ふるとなる
時鳥 (竹箒) ちをはく

秋天一碧 (鏡) くもりなし
八月十五夜 (もなか) 秋も最中

秋草 (タレヨン) 色とりどり
初霜 (ハガキ) ハガきれいになる

初恋 (きり) きをもむばかり
ママの小言 (角砂糖)

空財布 (だるま) おあしがない

不自由な人に

あたたかいすくいの手を
さしのべましよう。

銃砲刀剣類等所持取

縮令等の一部改正

七月四日、法律第五十一号で改正
(定義) は次の通り

第一条、この政令において(銃砲)

とは、金属性弾丸を発射する機能を有する装薬銃砲及び空気銃(圧縮ガスを使用するものを含む。)をいう。

第二条、この政令において「刀剣類」とは、刀渡十五センチメートル以上の刀、剣、やり及びなぎなた並びにあいくち及び刃渡五・五センチメートルをこえる飛び出しナイフ(四十五度以上に自動的に開刃する装置を有するナイフをいう。)をいう。

家族揃つて海山へ

自ぜんにしたしむ

厚生運動

七月二十一日

八月二十日